



# 倶知安町の景観形成と景観まちづくり

～ 未来へつなぐ羊蹄の輝き ～

令和5年（2023年）11月9日

倶知安町まちづくり新幹線課景観室

この写真は何かわかりますか？

序 景観とは、景観を育むとは・・・  
～景観計画の基本理念・行動指針・基本方針～



答え・・・

## 朝日に輝く穏やかな雪原

過酷な冬の生活環境である「豪雪」

それを耐え抜き、暮らしていくことで

この地への愛情と誇りを育む・・・

いつしか、厄介モノの雪が愛おしく、時には宝石にさえも



美しい風景は私たちの共有財産



ところで、

この風景から何を感じますか？

私の直感・・・

「ああ、ステキな自然の風景だなあ」

# 第1章 俱知安の夜明け

## 第一節 クッチャン原野

### 一 御料林への編入

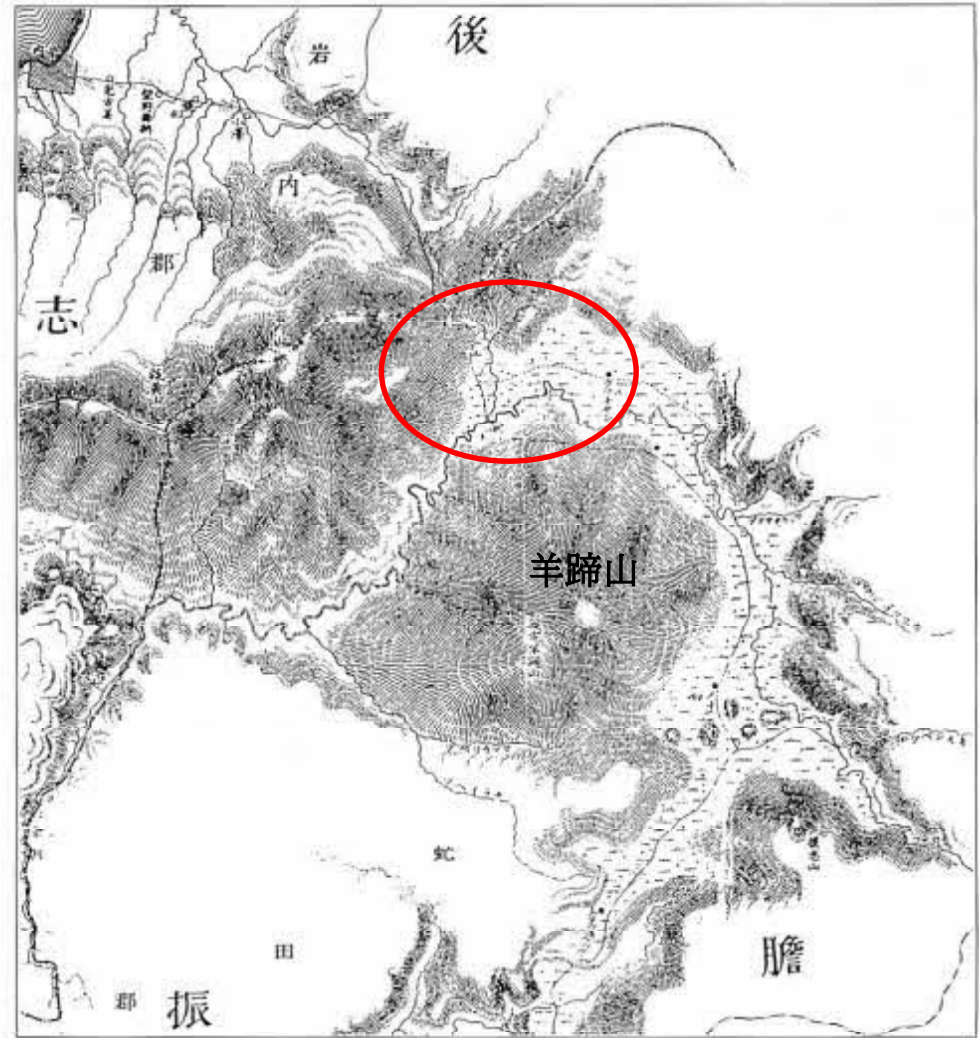
踏査はじまる

集治監の候補地 明治十年代のクッチャン原野には、名前がなかった。シヨッキ（現ソウスケ川）まで、シリベツ川（尻別川）左岸、羊蹄山に沿って、わずかにアイヌの人たちの通る刈り分け道があるにすぎなかった。

明治十三年、この原野が、集治監の候補地にあがった。集治監は、徒刑、流刑、終身懲役などの囚人を拘禁する施設のこと、のち監獄と名をかえる。

この年の二月、太政官は、北海道に集治監の設置をきめた。ついで四月、内務省御用係月形潔を主任とする調査団の一行が、設置場所選定のために来道した。

開拓使は、候補地として、樺戸郡須部都太、羊蹄山麓、十勝川沿岸、有珠郡などを提案した。そのなかから、人家に遠く、石狩川を利用して交通の便の得やすい、樺戸郡須部都太がえらばれた。翌十四年、月形は初代典獄となって赴任、同地はその姓をとって月形村となった。樺戸集治監（のち樺戸監獄となり、大正八年に廃監）である。



殖民地撰定概図（明治24年3月）・クッチャンは原野名、測量員に東北の人がいたらしく、カシツはカスツプになっている。



だけど、よく考えてみると、

昔はこんな感じだったはず

と、いうことは・・・

人の手が入った、つくられた「風景」なんだ



ちなみに、

雪のない時期はこんな感じ

つまり・・・

## 「農業」の風景

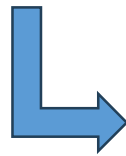


私たちが見る風景の恐らく全てはヒトの手が何らかの形で入っている。

そして、その大部分がヒトの営み（産業・暮らし）によって作り出されたもの。



豊かな自然の風景・・・

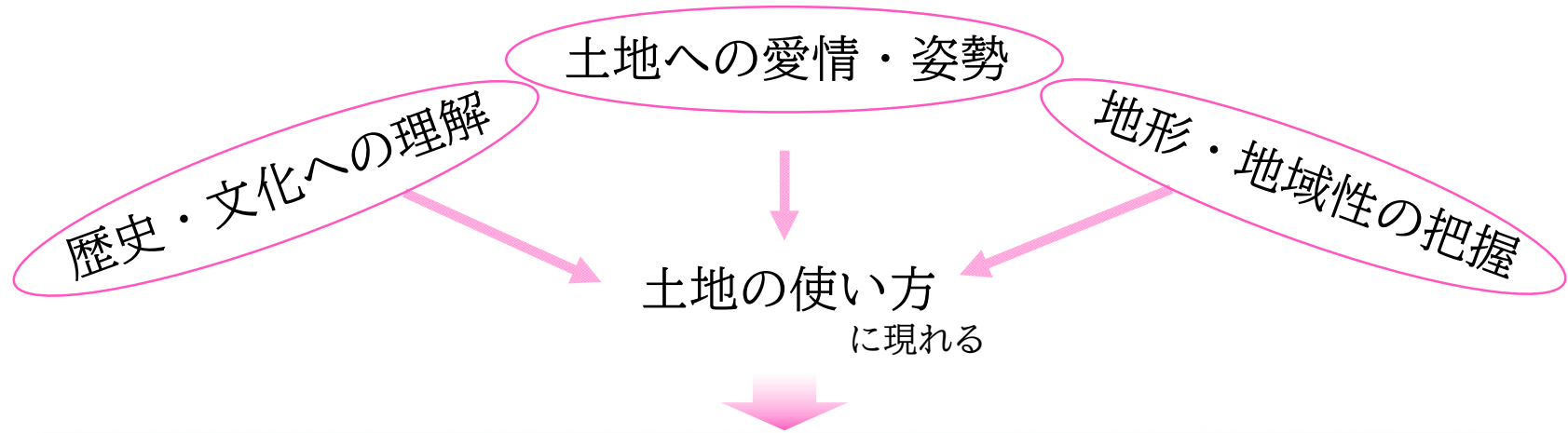


道路という人の手を加えたものがあって  
はじめてこの景色をみることができる





# 景観とは・・・（人文的な側面から）



# 景観とは・・・（人文的な側面から）

ここに暮らす・営む人の生活・行動様式

||  
“文化”



景観を<sup>かたど</sup>る

||

ヒトの行い（行動）も景観にもなる

時勢によって  
生活様式等は刻々と変化する

||

「文化」は変化する  
新たなものを加えたり、無くしたり



景観が変わる

||

景観は生き物

（変わっていくもの、変えていけるもの）



# 景観とは・・・（人文的な側面から）

大切な視点

風景 + 文化(行動)  
変化をともなう

景観は人が作りだすもの

つまり、  
景観計画は“人”が基本にあるということ

倶知安町景観計画の核

「基本理念」

“人”を中心に据える

誇りある、より良い景観につながるものに…

# 景観計画（基本理念）

倶知安町にとって「美しい景観」とは

四季折々表情を変える自然のもと、農林業をはじめとした産業が発展した倶知安町で暮らす、営む人々の生き生きとした姿（幸せに感じている姿）

## 基本理念

### 未来へつなぐ 羊蹄の輝き



「羊蹄の輝き」には2つの姿（状態）を込めている

- ・美しい自然景観の象徴である羊蹄山の四季折々に豊かに表情を変える姿
- ・羊蹄山などによって創られた大地や自然環境のもとで暮らす、営む人々が生き生きしている姿

## 基本理念から導く「めざす姿」

- ・互いに支え合い、今よりも豊かさを感じる暮らしと営み
- ・多様な恵みをもたらす豊かな風土の承継



# 景観計画（基本方針の前に…）

「基本理念」の次に「基本方針」を整理するが、

それだけで、より良い景観につなげられる計画になるのだろうか

なんかしっくりこない、もやもや・・・



景観に対する一人一人の“心”の持ち方（基軸）が必要ではないか  
景観づくりを進める上で、迷い・不安が生じた時の“道しるべ”のような



「行動指針」 「行動のための4つの姿勢」を整理

## 景観計画（行動指針）

先人から受け継いだこの大地を大切にし、  
愛着と誇りを育み、次の世代につなげる

～～ 実は参考にしたものがあまして ～～

ー古代ギリシャのアテネ人が新たに市民になる際の誓約ー

『私たちは、この都市を、私たちが引き継いだときよりも、損なうことなく、より偉大に、より良く、そしてより美しくして、次世代に残します。』

※ 弘前大学の北原啓司特任教授の『まち育て』に係る講演資料から  
“真の持続可能とは何か” 説明する時に使われる引用を拝借…

倶知安に関わる一人一人がこのような意識を持って行動することが、  
より良い景観につながるのではないかと

# 景観計画（行動のための4つの姿勢）

景観は、「守る」や「保全する」といった要素が強い印象でも、景観は、人によって作用する“生き物”  
よって、「育む」や「創出する」といった要素もある。

人々の営みによって、景観が変わることを認識する一方で、変化をもたらすときに「何が大事か」を考え、行動する必要がある

## 行動のための4つの姿勢

「過去」に対して	先人の思いや取り組みに「敬意」を持つ
「将来」に対して	より良くするために工夫して変化することへの「寛容」さ
「現在」に対して	みんなで支えあう「思いやり」の精神
「普遍」なものとして	自然環境をよく理解し「謙虚」な姿勢

# 景観計画（基本方針）

- 1 豊かな緑と水をいかす
- 2 四季折々に表情を変え、営み豊かな農林業
- 3 住みよい生活環境と潤いのある都市づくり
- 4 産業や人の営みを感じる資産の魅力を高める

## 5 育んだ地域への愛着を次の世代につなげる



- ◆ 道ばたに落ちているごみを見つけたら拾うなど、私たち自身の日ごろの行動から、心に潤いのある美しい景観文化を育みます。  
※ 景観文化 町民一人一人が俱知安ならではのふるさとの風景を誇りに想う気持ちを持ち、その風景を守り・活かし・伝えるために行動していること。
- ◆ 俱知安の成り立ちや歴史、様々な環境を知ることにより「守る」大切さを学ぶ機会と、様々な人が様々な場面でこれらを「伝える」機会を創出し、地域への誇りを育みます。
- ◆ 景観資源に触れる体験を創出し、人と人とのつながりを通して今ある資源を「活かす」創造力を養い、この地域に愛着を育みます。

景観まちづくりにつながる



# 景観計画（大切なこと？）

なので、..

景観計画以上に時間を費やし、地域住民と不動産開発事業者との間で身も心もすり減らしながら開発規制のルールを仕上げた…（令和5年10月施行）

けれども、担当者としては

あまり重視していない

景観づくりには、

もっと長い時間をかけながら

地道にやる

ことがある…はず

でも、景観形成も重要なので・・・次ページから

令和5年9月15日 北海道新聞（総合面）

## 「ニセコ」開発新ルール

### 倶知安町、来月3条例施行



【倶知安町】リゾート開発を推進し、観光客を呼び込むため、従来よりも厳しい規制を課す新ルールが、10月15日（土）から施行される。新ルールは、開発規制が厳格化され、環境保全が求められる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。

#### 施設規模に上限 ■ 緑確保義務付け

新ルールは、町域内の開発規制を厳格化し、環境保全を図る。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。

#### 実効性地元の評価二分

実効性地元の評価は二分に引き上げられる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。

#### 規制弱く過剰集客懸念

規制が弱く、過剰集客の懸念がある。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。また、開発規制が厳格化されることで、環境保全が求められる。

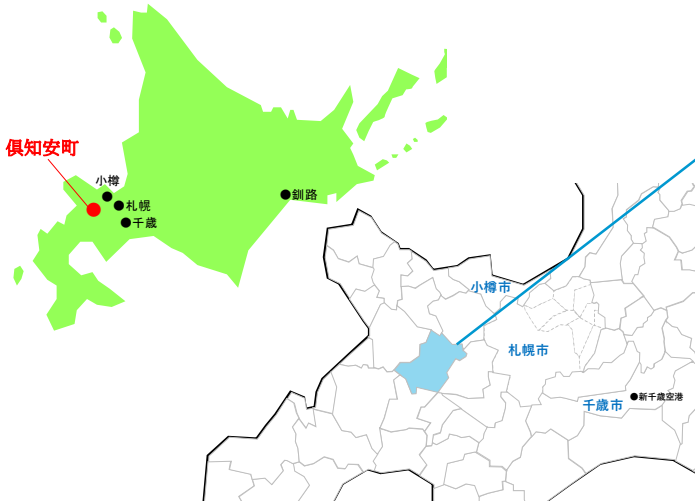
開発規制の厳格化	面積が1平方メートル以上、容積率が50%以下（旧地積換算平方メートル以下）
開発規制の厳格化	容積率の算定（旧地積換算平方メートル以下）
その他の規制	開発規制の厳格化（旧地積換算平方メートル以下）

# 1 倶知安町のこれからの景観形成

# 倶知安町の概要

- 倶知安町は羊蹄山麓の中心都市であるとともに、ニセコエリアのメインリゾートであるニセコひらふ地区がある

## ■ 位置・アクセス



### 倶知安町

140°45' 18" E  
42°53'42" N  
海拔176m

- ・ 札幌市 2時間 (電車・自家用車)
- ・ 新千歳空港 2時間30分 (自家用車・バス)
- ・ 釧路市 5時間30分 (自家用車)

☆北海道新幹線 (2030年度倶知安駅開業予定)

札幌→25分  
函館→1時間

☆後志道 (倶知安余市道路：建設中)

札幌→1時間半



## ■ 諸情報

- 面積 261.34km<sup>2</sup>
- 総人口 15,717人 (2023.1月末時点)  
うち外国籍住民 1,750人 11.1%  
≪外国籍住民過去最高 2020.1月  
2,602人 15.3%≫
- 高齢化率 25.1% (2022.1月時点)  
=北海道内では3番目に低い
- 町名の由来  
アイヌ語=「クツシャニ」  
(意味：くだのようなところを流れ出るところ)
- 「ニセコ」の由来  
アイヌ語=「ニセイ・コ・アン・ペツ」  
(意味：峡谷にある川)

# 倶知安町の概要

●北海道の日本海側にある倶知安町は、夏は冷涼で晴天、冬は北海道内有数の豪雪地帯である

## ■ 気候



(国土交通省気象庁過去の気象データ 過去5年平年値)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【平均気温】/℃	-5.2	-4.9	0.8	5.4	12.0	16.0	20.8	20.7	17.0	10.3	3.9	-3.2
【最高気温】/℃	-1.7	-0.9	5.0	10.5	17.8	21.2	25.8	25.4	22.6	15.9	7.9	-0.2
【最低気温】/℃	-9.5	-9.2	-3.8	0.2	6.6	11.5	17.1	16.8	11.8	4.9	-0.1	-6.3
【降雪量】/cm	231	192	73	12							67	276

## 年間降雪量

過去5シーズン平均値 (2018-19シーズン~2022-23シーズン) 850cm  
最大値 (1969-70シーズン) 2,019cm

## 最深積雪量

過去5シーズン平均値 (2018-19シーズン~2022-23シーズン) 196cm  
最大値 (1970年3月25日) 312cm

